



小さな一歩を積み重ねて

校長 尾後貫智

ニューデリーでは朝夕めっきり涼しくなり、過ごしやすい季節となりました。後期に入り、早半月が過ぎようとしています。

10月14日からスタートした後期始業式では、以下のことを子どもたちへ話しました。

「後期は、『自分を仕上げる時間』です。前期にできなかったことをそのままにするのではなく、『次はできるようになろう』と心に決めて取り組みましょう。大きな目標でなくともかまいません。例えば、毎朝しっかりとあいさつをする、友だちの話を最後まで聞く、苦手なことから逃げずに、一度は挑戦してみるなど、小さな一歩を積み重ねる人が、最後には大きく成長します。後期の終わりに、『あの時、がんばってよかった』と自分で自分のことを褒めることができますように、みんなと一緒に学校生活を送っていきましょう。」

後期の取り組みについて、子どもたちが大成長できますよう、是非ご家庭でも話題にしていただけたらと思います。

本日は「ナマステ！INDIA☆DAY」を行い、多くの保護者の皆様のご参観をいただきました。この行事は、インドの様々な文化に触れるを通して、インドへの関心を高め、現地理解を深めること。そして、日本と異なる文化を認め、国際社会の一員として共に生きる態度を育てることがそのねらいです。

当日は、全校児童生徒を3つのグループに分けて各3つの活動体験ができるように計画して実施しました。限られた時間の中でしたが、ボリウッドダンス、ヨガ、ランゴリ、メヘンディ、マンダラ（塗り絵）、ヒンディー語、スタナー（インドの子どもの遊び）、インドの楽器（ハーモニウム・タブラ）にふれる体験をしました。さらに校庭では、リキシャの試乗を今年も行いました。また昼食時には、パラタとチャイを保護者ボランティアの皆さんのご協力を得て、配膳していただき、試食試飲体験することができました。これらのインド文化に触れる体験活動が、現在自分が生活している場であるインドへ関心を持つ一つのきっかけになることを期待しています。

11月は、社会科見学や修学旅行など子どもたちにとって楽しい行事が続きます。しかし、デリーの大気汚染が悪化するのも例年この時期です。学校では、大気汚染に限らず、児童生徒の安全のため、休校せざるを得なくなった場合に備えて、オンライン授業の準備を進めてきています。まずは教員がオンライン授業を開くための研修を行い、実際に教室で子どもたちが家庭でのログインを想定した操作の練習を行っているところです。10月28日付け「緊急時オンライン授業（通知）について【重要】」の文書を各ご家庭に配布いたしました。子どもたちがオンライン授業に慣れるまでは各ご家庭で、保護者の皆様のご協力をいただくこともあるかと思いますが、その際はよろしくお願ひいたします。

また、大気汚染に対する本校の対応につきまして、再度11月3日に文書を発出いたしますので、ご確認下さいますよう重ねてお願ひいたします。



10月のトピック



～トヨタパラアスリート ゲストティーチャーで来校～

1日（水）、世界パラ陸上選手権大会に出場するために来印されていた、やり投げの高橋峻也選手と走り幅跳びの石山大輝選手が来校し、講話と実演をしてくださいました。網膜に障がいがある石山選手の「目が見えなくても無限の可能性が広がっている」言葉は印象的でした。右腕に障がいがある高橋選手は「目標を持つこと、人との出会いを大切に！」とお話くださいました。高橋選手のグラブスイッチの披露があり、視野狭窄メガネをかけての石山選手の視覚体験なども行いました。



～今月のゲストティーチャー～

6日（月）シンガポールから歯科医師が来られ、小学部に「だらだら食べは虫歯のもと」等わかりやすく丁寧にお話してくださいました。また、マルチスズキの方からは、営業と技術関係の方からG5の工場見学に向けて事前授業をしてくださいました。



児童生徒会～後期役員・委員長決定！～

後期の役員、委員長が決まり、任命式を行いました。それぞれのリーダーが後期への抱負と活動の目標を発表しました。

ナマステ！INDIA☆DAY

31日（金）、インドの文化を知る恒例行事です。下学年、上學年、中学部に分かれ、楽器・舞踊・リキシャ・ヒンディ語・料理などを体験しました。



＜児童生徒数＞ ※10月31日現在 スーリヤ生の数は交流学級に計上しています。

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	スーリヤ	計
男子	3	13	15	20	20	14	12	17	12	(4)	126
女子	24	17	17	12	15	25	11	12	13	(1)	146
計	27	30	32	32	35	39	23	29	25	(5)	272